

当園ではこの度、令和6年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

身体も心ものびのびと過ごせる、情操と知育を総合させた教育を目指しています。
きちんとした価値観やモラルを身につけること。それが心身を健やかに成長させ、子どもの未来を創る原動力となります。

保育するうえでは、「徳育、知育、体育、国際化（英語教室）」の4つの理念を大切にし、その中で息づく「こころ」を育てる教育を実践しております。

きちんとしたモラルを身につけ、親孝行で将来社会の役に立つ人として育っていくよう、教諭、講師、職員の力をあわせ、お子様達の保育をすすめてまいります。

II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上
- 教職員間の連携強化
- 安全管理体制の充実
- 園全体の発展

III. 自己評価項目と取組み状況

自己評価項目			取組み内容	
1	教職員の資質向上	子どもにとってよりよい教育のためにどのような取組みをしましたか？	A	運動会や発表会などの行事では必要に応じて保育に加わり、全体が円滑に進むよう連携を強めました。日々の保育では、子どもの特性や気持ちに寄り添い、丁寧な声かけや絵本活動を通じて生活習慣や礼儀も育みました。職員同士の情報共有を大切にし、個々に応じた関わりで、安心して過ごせる環境づくりに努めました。
2	教職員間の連携強化	会議や終礼等の情報共有によってどのような取組みをしましたか？	A	日々の終礼や会議、共有ノートを通じて、各クラスの様子や連絡事項を職員全体で共有し、情報の行き違いを防ぐ体制を整えました。時間帯や配置にも配慮し、伝達のを確保。些細なことでもすぐに報告・相談し合い、全員が同じ情報を持って保育にあたるよう努めました。

自己評価項目			取組み内容	
3	安全管理体制の充実	子どもたちが安全に遊具を利用できる環境を整えるために、遊具の確認を定例化して行う。避難訓練の回数やその方法・設定について再度検討する。	B	毎月の避難訓練では様々な状況を想定し、子どもと振り返る機会も設けながら、安全意識を高めました。訓練ごとに職員間で成果や課題を共有し、改善を重ねています。また、遊具やおもちゃの破損確認、保育者の見守り位置の工夫など、日々の保育の中でも安全管理に努め、子どもが安心して過ごせる環境づくりを行いました。
4	園全体の発展	園全体の発展につなげるため、保護者アンケートの集約意見を教職員全体で考察する。	B	保護者アンケートを全職員で共有し、頂いた意見を真摯に受け止め、改善できる点には積極的に取り組みました。子どもの成長を保護者と共有できたことを励みに、日々の言葉かけや指導を見直し、全体で話し合いながら園の質の向上を図っています。今後も保護者との対話を大切にし、信頼される園づくりに努めてまいります。

【評価の基準】	
A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

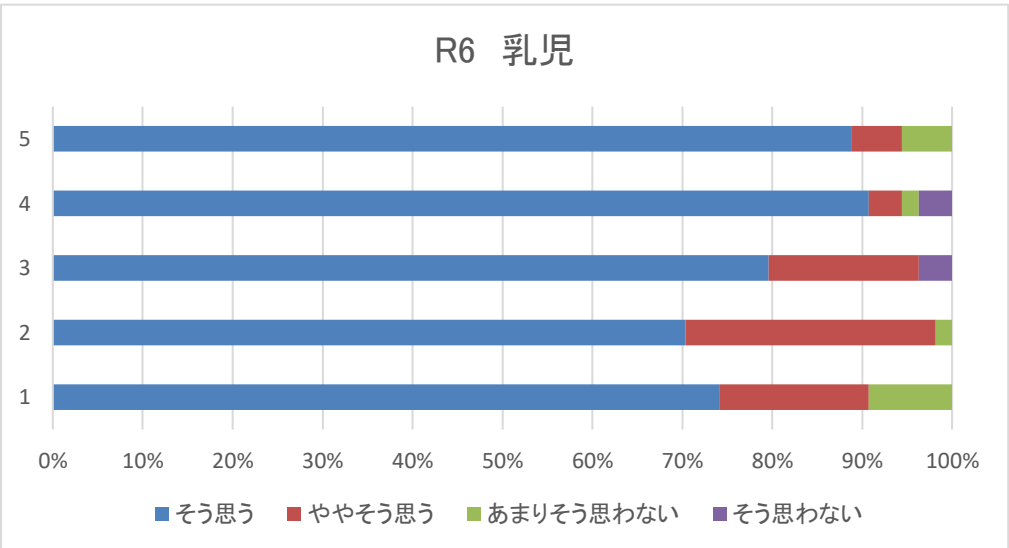
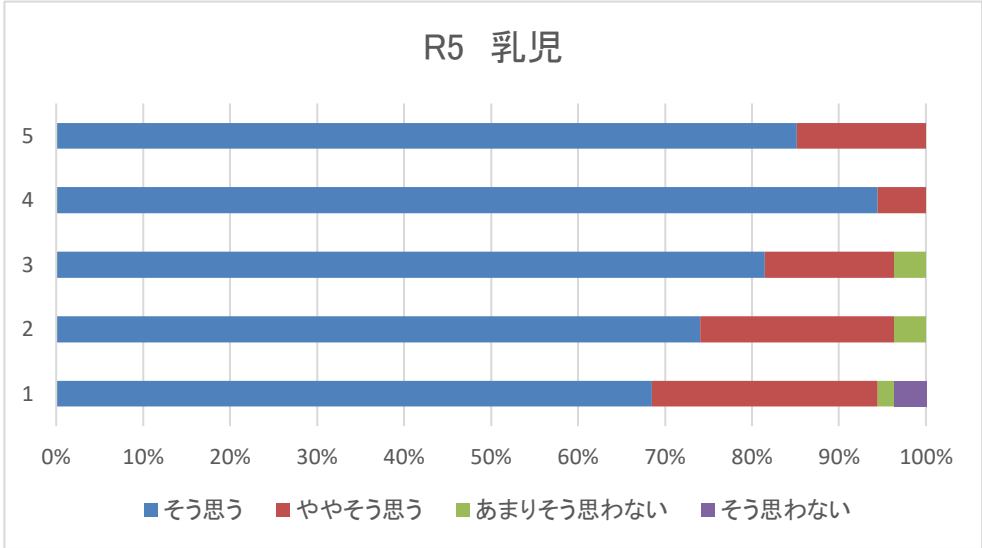
1	教職員の資質向上	子ども一人ひとりに丁寧に関わる姿勢が定着してきたが、より専門性の高い保育を目指し、研修で得た学びの実践や保育の振り返りを継続して行っていきたい。保育の質の均一化にも取り組んでいきたい。
2	教職員間の連携強化	終礼やノートでの共有は進んでいますが、情報伝達のタイミングや方法に個人差があるため、誰もが必要な情報を確実に共有できる体制の整備を行っていきたい。
3	安全管理体制の充実	遊具点検は当番制を徹底し、抜けや見落としのないよう責任を明確にして実施していきたい。また、避難訓練では慣れからくる緩みを防ぎ、常に緊張感を持って取り組めるよう工夫して行っていく。
4	園全体の発展	保護者アンケートの活用が進み、意見をもとに改善も図られていますが、対応がクラスごとに分かれる場面も見られました。全体での課題共有と、対応方針を統一しながら園全体での質の向上を目指していきます。

V. 保護者アンケートの結果

■アンケートの集計結果

＜乳児クラス＞

質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5
お子さんは、園に登園することを楽しみにしていますか？	お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お子さんは、クラスの先生に親しみを持っていますか？	お子さんは、園生活で成長していると感じますか？	お子さんは、自園給食の内容に満足していますか？



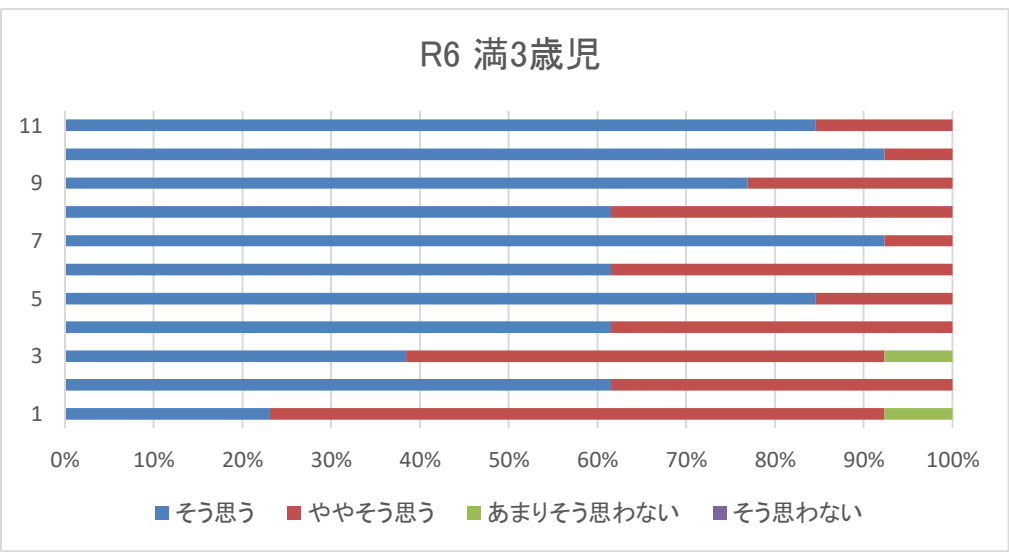
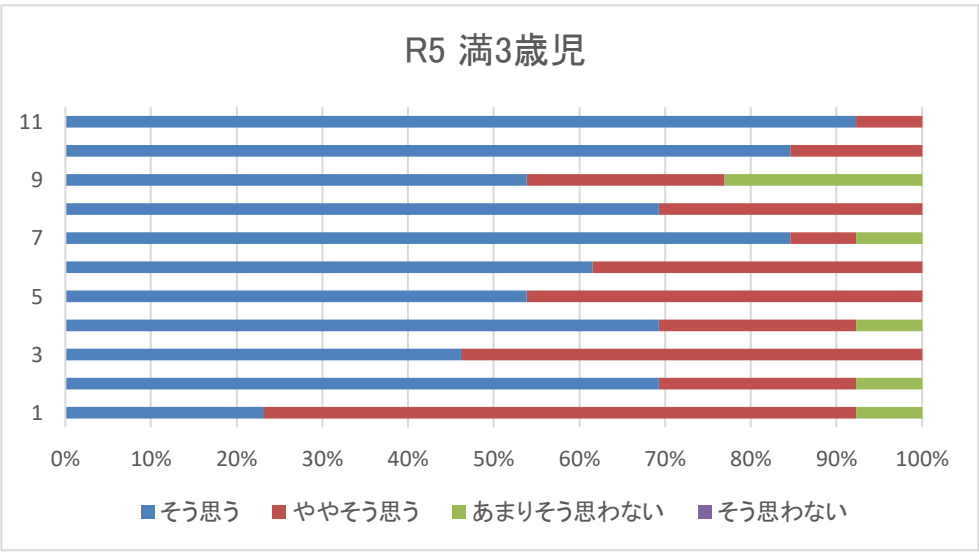
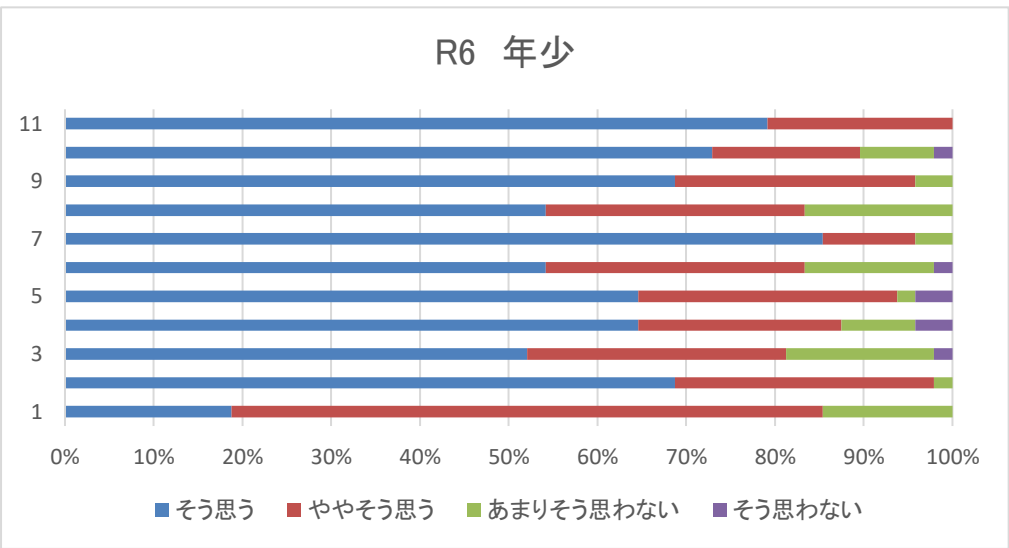
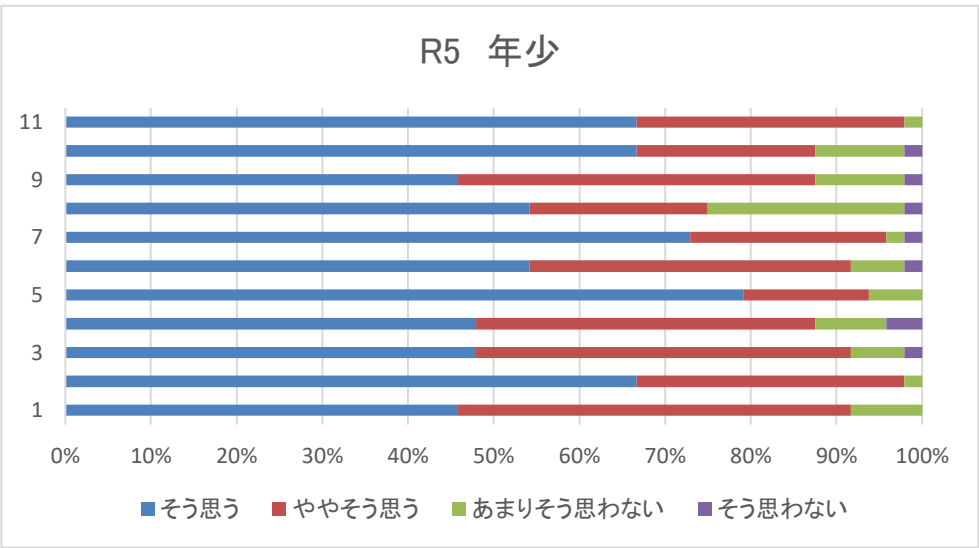
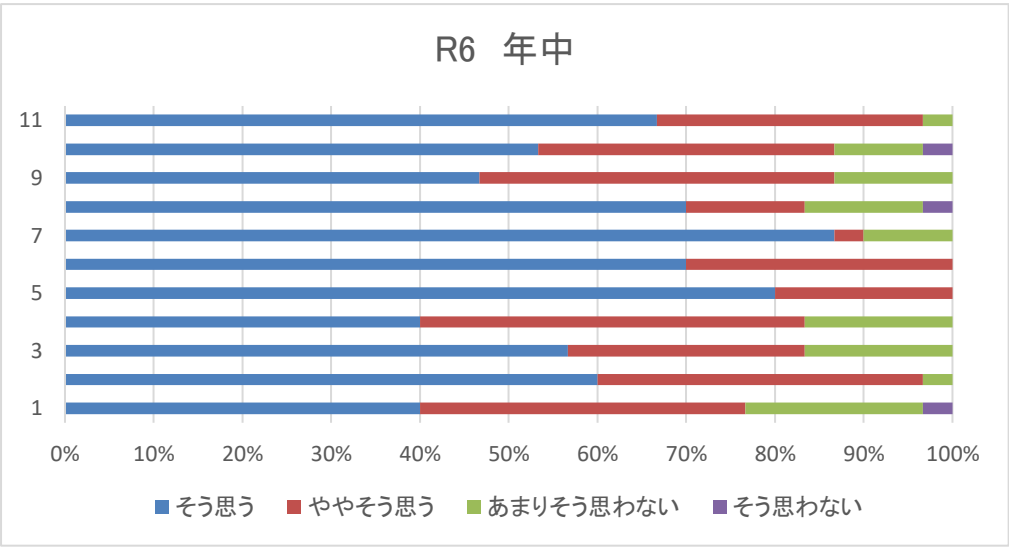
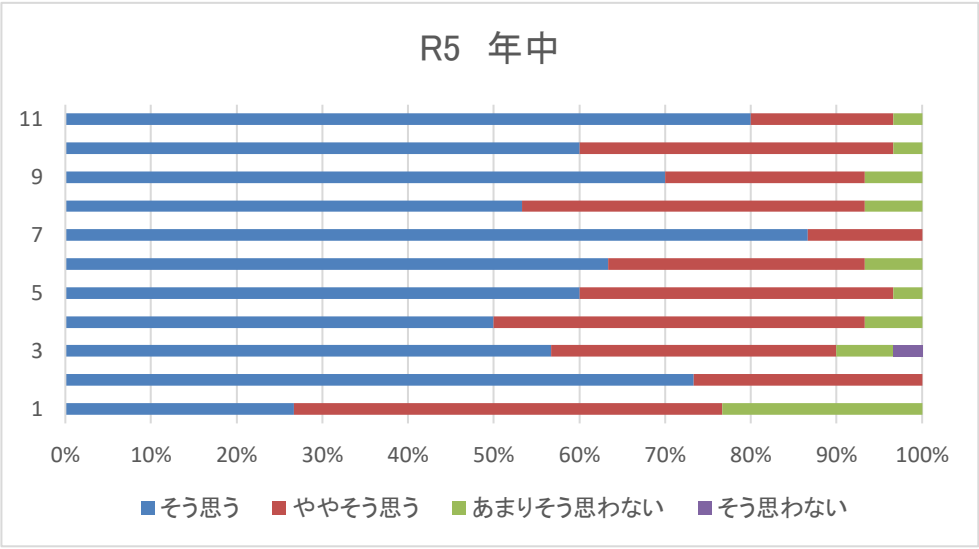
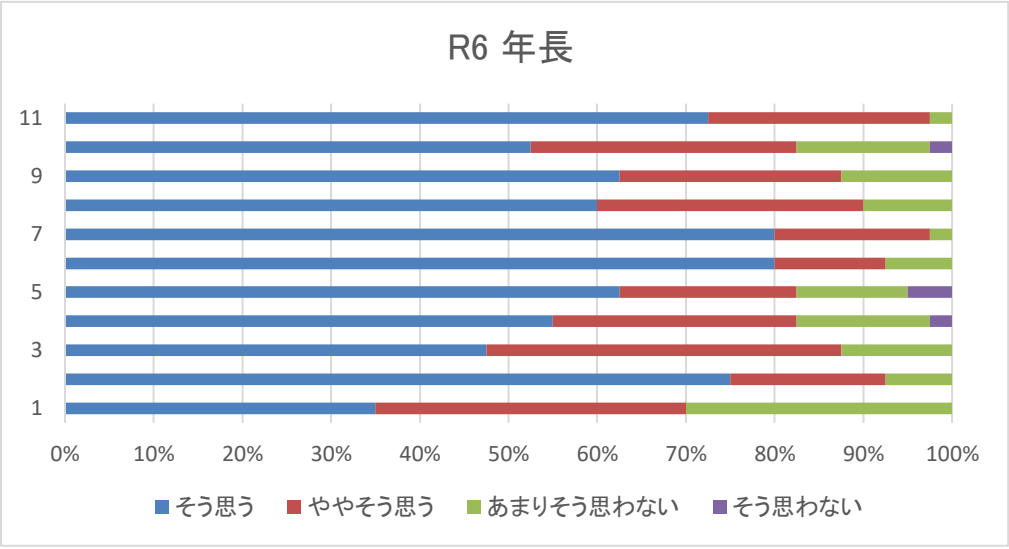
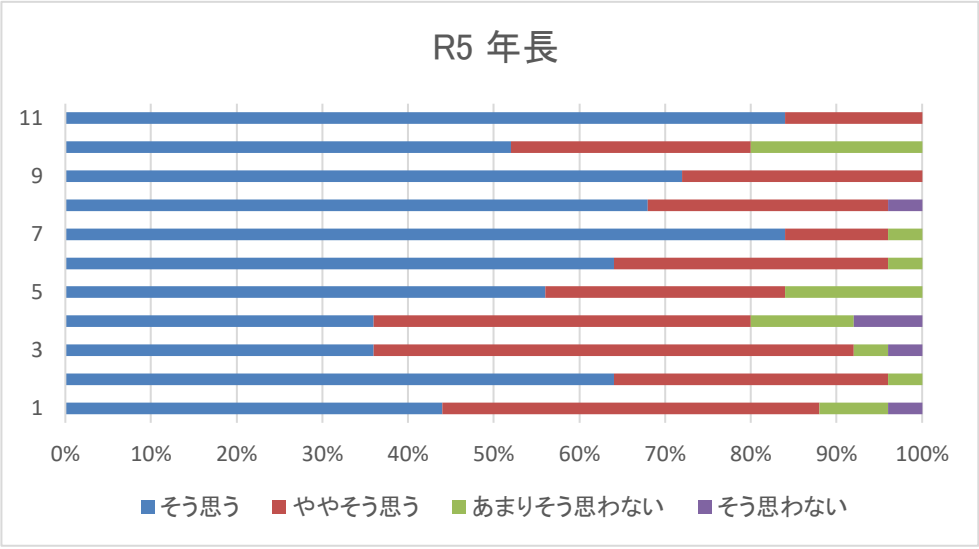
令和6年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台国際幼稚園

＜満3歳児・年少・年中・年長クラス＞

質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5
お子さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？（ありがとうの言葉など）	お子さんは、感受性が豊かだと感じるときがありますか？	お子さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？	お子さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？	お子さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらおうとする姿勢が見られますか？

質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 1 0	質問 1 1
お子さんは、集団生活の基本（順番を守るなど）がきちんとできていますか？	お子さんは、体育活動（跳び箱、縄跳び、鉄棒、一輪車、ボールなど）を楽しみにしていますか？	お子さんは、園に登園することを楽しみにしていますか？	お子さんは、体育活動を通じて、体が丈夫になったと思いますか？	お子さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？	お子さんは、自園給食の内容に満足していますか？



■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)

<乳児クラス>

質問1 園生活する中で殆どのこどもが登園を楽しみにしてくれている結果にうれしく思います。ちいさなこどもの事ですので、日によって機嫌の良いとき悪いときもあると思いますが、毎日楽しみに登園してもらえるように、これから寄り添っていきます。

質問2 感受性については、乳児のお子様は発達途途中な部分もあると思いますが、笑ったり泣いたりいろんな表情をみせてくれていますので、これからもたくさんの経験の中から感受性を育んでいってもらえるように過ごします。

質問3 園で関わる保育者は保護者の役割を担って保育しています。今回「あまりそうおもわない」の回答があり子どもたちへの関わりについて振り返り、担任への親しみが増すように頑張ります。

質問4 保育する中でお子様の成長を殆どの方が感じて頂いている事を、うれしく思います。しかし「そう思わない」との回答もありました。日々生活する中で園での子どもたちの様子や成長をお伝えし保護者と担任と共有しながらたくさんの経験のなかで成長を感じていただけるように取り組みます。

質問5 自園給食に満足して頂けてとてもうれしく思います。管理栄養士や調理士も、どんな調理方法だったら子どもたちが喜んで食べてくれるのか考えています。こどもたちも好き嫌いなく食べられるようになり、おかわりもするようになっていきます。これからも楽しい食事が提供できるよう努めます。

<幼児クラス>

質問1 挨拶については、場所や環境も関係あると思われます。園生活では挨拶は当たり前になっている所もありますが、「自分から」という所に難しさがあるのかも知れません。挨拶当番など挨拶ができる環境づくりを工夫していきます。

質問2 感受性はどの学年も良い結果が出ていると思います。こどもだからこそ感じられるものを大切にしながら、園生活を通して様々な経験のなかでより豊かな感受性を育める様に、取り組んでいきます。

質問3 相手の目を見て聞くことは、集中力がいります。アンケートの中でゲームやタブレットに夢中になっているという回答がありました。園ではお話を聞くときに目を見ることを声掛けして出来ていますので、環境も必要なのかも知れません。

質問4 学年によって違いはありますが、進んでお手伝いをしている事はうれしく思います。園でもお当番活動を通してお手伝いを積極的に取り組めるようにしています。お手伝いを通して役立つ喜びを感じ、家庭でのお手伝いも促していくようにします。

質問5 結果は学年によって差はあるようですが、園で行っている貸出絵本を読み聞かせて頂いていることを、うれしく思います。絵本を通して想像力を育んだり、字を覚えたりしますので絵本を活用して頂きたいと思います。

質問6 集団生活をする中でルールや約束を守って過ごすことは出来ていると思います。成長する毎に意識も高まってきますので、こども自身がルールを理解し実践が習慣づくようにしていきます。

質問7 体育活動ではどの学年も楽しく指導をうけています。こどもによっては得手不得手もありますし、興味のあるなしによっても変わってくると思います。縄跳び、跳び箱、鉄棒、ボールは体育指導を通して上達しています。出来たことを喜び、達成感を味わいながら積極的に参加できるように講師とも連携していくようにします。

質問8 登園を楽しみにしている事も毎日のことになると日によつての違いもあると思います。何かあるとぐずってしまい、保護者と離れる不安もあるようですが、不安が軽減され登園を楽しみにして頂けるよう子どもたちに寄り添っていくようにします。

質問9 体育指導を通して基本的な走る、跳ぶ、ぶら下がるなどの動きをサーキットで経験しています。年齢によりだんだんと体力がついてくるものですので、遊びや指導を通して楽しみながら体力づくりに繋げられるようにします。

質問10 英語指導では年齢に応じた指導をしています。小さな学年は歌やゲームを楽しみ、年長になるとアルファベットを習い、書く練習もします。言葉の理解は難しい事もあると思いますが指導だけでなく日々の生活の中で常勤のteacherと関わり耳から自然と英語に親しむ環境をより多くつくるようにしていきます。

質問11 多くのこどもたちが自園給食に満足して頂けてうれしく思います。食育を通して苦手だったものも食べれるようになり、食べる事の大切さも学べていると思います。又、調理実習を通して季節の旬の食べ物を知ったり、節句の料理を作って食べたりして興味を持てるようにしています。管理栄養士と連携しながら美味しく楽しく食べ、更に満足してもらえるように取り組みます。

VI. 学校関係者の評価

以前は、大人に対して人見知りすることもあり、挨拶や自分の気持ちを伝えるのが少し苦手でした。年少になってからは、本人もしっかりしてきて、会話もきちんと通じるようになったため、家庭でも少し厳しく接するように心がけていました。園でも丁寧にご指導いただいているおかげで、今ではしっかりと相手の目を見て挨拶ができるようになりました。日によって波はありますが、「今日、体操だったよ！」「こんなことをしたよ！」とその日の出来事を嬉しそうに話してくれることも多く、楽しく通園しているようです。英語の歌もよく口ずさんでおり、園でのさまざまな経験を楽しんでいる様子が伝わってきます。

私は外部講師として、園や先生方と関わらせていただいております。日々の体育活動においては、体育講師である私に任せきりにするのではなく、担任の先生方が連携を取りながら、積極的にご協力くださっています。例えば、活動内容の提案や相談、けが防止のための声かけ、苦手な子どもへの励ましやフォローなど、真剣に取り組んでいただいております。特に、跳び箱・逆上がり・縄跳びといった種目を苦手とする子どもたちに対しては、体育の時間だけでなく、普段の戸外遊びの中でも積極的に関わっていただいております。大変うれしく思っております。今後も先生方との連携を大切にしながら、子どもたちにとってより良い体育活動を目指してまいります。

以上